

アカデミックチャレンジ②(2年)

2023.06.29

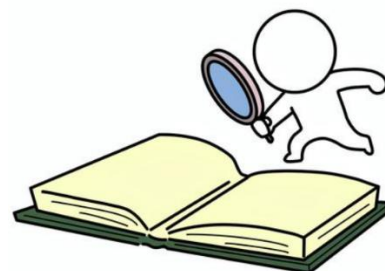
2年次後半からの個人探究(自身で「問い」を立てて追究する)に向けてヒントを得るため+学問探究(研究)の魅力を発見するため、大学で探究(研究)されているテーマ(「問い」・課題)に対して、高校生自身で考えた進め方で、仮説を立てる/仮説の根拠となる資料を集める/資料を分析・検証する/導き出した「答え」をレポートにまとめる…ということに挑戦してきました。

4月以来、2回目となる大学の先生による今回の講義では、この間に高校生が自分なりに出した、与えられた学問的テーマ(「問い」・課題)に対する「答え」(レポート)に対する「フィードバック」をいただきました。レポートやプレゼン資料の体裁に関する部分からはじまり、多くの「気づき」を大学の先生方から与えてもらうことができました。特に高校生自らが出した「答え」の内容については、インターネット上の不確かで限られた情報だけに頼っていることの危うさや、一見すると「答え」になり得ていそうでそれに類する取り組みが実際に行われているものでも、真に「答え」とはなり得ておらず、実は新たな社会問題やトレードオフ状態を生み出すことにも



つながっているのだということに気づかされる面がありました。

今回の取り組みにおいて得られた以上のような「不十分さ」や「不完全燃焼さ」を、次の新たな「問い」づくりや、個人探究に活かしていきます。



きく力 対話力 課題発見力 判断力 実行力 思考力 表現力 創造力



!OODA-OODA! observe, orient, decide & act